

第1号様式【事後審査型】

入札公告

本場厩舎新築工事の実施設計委託に関する一般競争入札公告

本場厩舎新築工事の実施設計委託について、一般競争入札を行うので、岐阜県会計規則（昭和32年岐阜県規則第19号。以下「規則」という。）第127条の規定により公告します。

令和6年5月14日

岐阜県地方競馬組合
管理者 河合 孝 憲

1 一般競争入札に付する委託

- (1) 仕様書番号 推委第6号
委託名 本場厩舎新築工事の実施設計委託
- (2) 委託場所 岐阜県羽島郡笠松町若葉町 地内
- (3) 委託概要 下記工事に係る実施設計
○新築工事
厩舎 木造2階建て 延べ面積 約473.66㎡×5棟 計2,368.3㎡
- (4) 履行期間 契約の日から令和7年3月5日まで
- (5) 予定価格 26,175,600円（消費税及び地方消費税を含む）
- (6) 低入札価格調査制度 有

2 入札参加資格

本業務は単体による一般競争入札とする。入札に参加する者に必要な資格は、次のとおりとする。なお、特に断りのない限り、入札参加資格は当該業務における入札参加申請書の提出期限日（以下「申請期限日」という。）時点とする。

入札参加資格に関する事項

- ア 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。）第167条の4の規定に該当しない者であること。
- イ 岐阜県建設工事入札参加資格者名簿の建設関連業務（測量・建設コンサルタント・建築設計）に記載されていること。
- ウ 岐阜県建設工事請負契約に係る入札参加資格停止等措置要領（平成13年4月1日工検第12号）又は岐阜県が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱に基づく入札参加資格停止措置（以下「参加資格停止措置」という。）を、競争入札参加資格確認申請期限日から当該業務の落札者を決定する日までの期間内に受けていないこと。又は同要綱別表に掲げる措置要件に該当しないこと。
- エ 建築士法（昭和25年法律第202号）第23条の規定に基づく一級建築士事務所の登録がされていること。
- オ 入札に参加しようとする者の間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。
なお、関係がある場合に、辞退する者を決めることを目的に当事者間で連絡を取ることは、談合等不正な行為とは解さない。
- ① 資本関係
以下のいずれかに該当する場合。ただし、子会社（会社法（平成17年法律第86号。以下「会社法」という。）第2条第3号に規定する子会社をいう。以下同じ。）又は子会社の一方が民事再生法の規定による再生手続開始の決定や会社更生法の規定による更生手続開始の決定を受けた会社である場合は除く。
 親会社（会社法第2条第4号の親会社をいう。以下同じ。）と子会社の関係にある場合
 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合
- ② 人的関係
以下のいずれかに該当する場合。ただし、については、会社の一方が更生会社又は再生手続が存続中の会社である場合は除く。
 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合
 一方の会社の役員が、他方の会社の管財人（会社更生法第67条の管財人及び民事再生法第64条の管財人をいう。）を現に兼ねている場合
- ③ その他入札の適正さが阻害されると認められる場合
その他上記①②と同視しうる資本関係又は人的関係があると認められる場合
- カ 本委託に従事する一級建築士は、本件の申請期限日以前に3か月以上の恒常的な雇用関係にある者であること。
ただし、合併、営業譲渡又は会社分割による所属企業の変更があった場合、緊急の必要その他やむを得ない事情がある場合については、3か月に満たない場合であっても恒常的な雇用関係にあるものとみなす。
- キ 平成21年度以降に、建築基準法（昭和25年法律第201号）第6条第1項（又は同法第18条第3

項)の規定に基づく確認済証の交付を受けた物件で、以下に示す建物の設計実績があること。(設計共同体としての実績は、代表構成員としての実績に限る。)

- ・新築又は増築部分の床面積が200㎡以上の建築物(畜舎(馬の飼養に係る厩舎に限る。))
- ク 常勤雇用の一級建築士を2名以上有する者であること。(常勤雇用とは、申請期限日以前に3か月以上の恒常的な雇用関係にあるものをいう。)

3 入札参加の申請に関する事項

- (1) 当該業務に入札参加を希望する者(以下「入札参加希望者」という。)は、に入札説明書の入札参加申請書(様式1)に必要事項を記入し、申請期限日までに持参すること。
- (2) 入札参加申請書を申請期限日までに提出しない入札参加希望者は、当該入札に参加できない。
- (3) 入札参加希望者は、入札参加通知書による通知を受けなければならない。
- (4) 申請期限日までに提出された申請書において、記載間違い又は記載漏れがある場合には、無効とすることがある。
- (5) 申請書は、次のアからオのとおり取り扱うものとする。
 - ア 入札公告に定める様式により作成すること。
 - イ 作成及び提出に係る費用は、入札参加希望者の負担とすること。
 - ウ 入札参加の申請以外に使用しないこと。
 - エ 入札参加希望者に返却しないこと。
 - オ 申請期限日を超過する日以降に、差し替え又は再提出を認めないこと。

4 設計図面及び仕様書等の質問・回答に関する事項

- (1) 入札参加希望者は、設計図面及び仕様書等に関する質問がある場合、収支等命令者が定める提出期間内に、質問書(様式は自由)を持参すること。
- (2) 収支等命令者は、入札参加希望者から質問書の提出があった場合、質問書に対する回答書を組合HPにより回答する。また、併せて発注機関での閲覧に供する。

5 入札執行に関する事項

- (1) 入札は、第3において入札参加を認められ入札参加資格の確認結果による通知を受けた入札参加希望者(以下「入札参加者」という。)を対象として行う。
入札参加者は入札参加通知書による通知の写しとともに入札書等(入札書及び入札書に記載される入札金額に対応した積算内訳書をいう。以下同じ。入札書は入札説明書の様式3)を開札時に持参すること(代理人が入札する場合は、入札説明書の様式2を持参すること)。また、入札を辞退する場合は、入札辞退届(入札説明書の様式4)を持参すること。
- (2) 落札価格は、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた額)とするので、入札参加者は、消費税に係る課税事業者であるか免税業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
- (3) 予定価格を事前に公表している場合、見積もった契約希望金額が予定価格を超える場合は、入札を辞退すること。また、入札を辞退しても、これを理由とした不利益な取扱いを受けるものではない。なお、予定価格を超える金額で入札書等を提出した場合、不誠実な行為として参加資格停止措置を行うことがある。
- (4) 積算内訳書は、設計図書における仕様書に基づき作成することを原則とするが、入札参加者が所有する積算ソフト等の出力によることも可能とする。ただし、記載内容は最低限、数量、単価及び金額等を明らかにすることとし、積算内訳書が次のアからオのいずれかに該当する場合は、無効とすることがある。
 - ア 内訳書の合計金額と入札額が一致していないもの
 - イ 記載すべき項目を満たしていないもの
 - ウ 一括値引きがあるもの
 - エ 端数調整・処理されているもの
 - オ その他不備があるもの
- (5) 開札は、入札の終了後直ちに入札参加者等(入札参加者又はその代理人をいう。以下同じ。)の立ち会いの上行う。
- (6) 収支等命令者が、適正な入札執行の確保が必要と判断した場合には、入札書等を抽選により選定することがある。この場合において、選定する入札書等の数は、収支等命令者が抽選の際に示す。
- (7) 次のアからクに該当する入札は無効とする。
 - ア 入札参加者が同一事項に対し、二以上の入札をしたとき。
 - イ 入札参加者が他人の代理をし、又は代理人が他人の代理を兼ねたとき。
 - ウ 入札保証金を免除した場合を除き、その全部又は一部が納付されていないとき。
 - エ 入札に関し談合等の不正行為があったとき。
 - オ 入札書に記名押印がないとき。
 - カ 入札書の記載事項の確認ができないとき。
 - キ 入札参加資格を有しない者が入札をしたとき。
 - ク その他収支等命令者があらかじめ指定した事項に違反したとき。
- (8) 予定価格を事前に公表している場合は、再度入札を行わない。
- (9) 低入札制度として、次の制度を適用している。
 - 低入札価格調査制度
低入札調査基準価格(以下「基準価格」という。)及び価格による失格判断基準(以下「失格判断基準」という。)を設けているため、落札候補者の入札額が基準価格を下回り、かつ失格判

断基準以上となった場合は、入札を保留し、契約の内容が履行されないおそれがあると認められるか否かについて、落札候補者へのヒアリング及び関係機関の意見聴取等を行う。なお、低入札価格調査に係る調査票を期限までに提出しない場合又はヒアリングに応じない場合など低入札価格調査に協力しない場合は、当該落札候補者を落札者とししない。ただし、この調査期間に伴う当該業務の履行期間延長は行わない。

また、基準価格を下回り、かつ失格判断基準以上の価格をもって契約をする場合は、第三者照査を義務付けるものとする。第三者照査者の要件は、次のとおりとする。

・岐阜県建設コンサルタント業務等に係る低入札価格調査等に関する要領第10による。

・同要領10(5)による「同種の業務」は以下のとおりとする。

延べ面積200㎡以上の建築設計業務（新築又は増築に限る。）

また、低入札価格調査において虚偽の資料提出若しくは説明を行ったことが明らかとなった場合又は当該調査時の内容と成果物提出後の検査時の内容とが著しく乖離した場合（合理的な乖離理由が確認できる場合を除く。）は、参加資格停止措置を講ずることがある。

なお、失格判断基準を下回った入札参加者は、当該入札を失格とする。

詳細は、「岐阜県建設コンサルタント業務等に係る低入札価格調査等に関する要領」によるものとする。

(10) 落札候補者の決定は、次のア、イのとおりとする。

ア 会計規則第111条の規定により作成された予定価格の制限の範囲内であり、入札価格の最も低い者を落札候補者とする。

イ 落札候補者が2者以上ある場合は、くじによって落札者を決定する。なお、この場合において、くじを引くことを辞退することはできない。

(11) 入札書等は、次のアからエのとおり取り扱うものとする。

ア 作成及び提出に係る費用は、入札参加者の負担とすること。

イ 入札執行以外の用途に使用しないこと。

ウ 入札参加者に返却しないこと。

エ 入札書等の差し替え又は再提出又は撤回を認めないこと。

(12) その他入札の執行については、施行令及び会計規則に定めるところによる。

6 入札参加資格の確認に関する事項

(1) 開札の結果、落札候補者となった入札参加者は、入札参加資格の確認を行うので、収支等命令者が指示した提出期限日までに、確認資料（入札説明書の入札参加資格確認申請書（様式1-2）及び附属書類をいう。以下同じ。）を持参すること。なお、落札候補者が入札参加資格を満たしていない場合等には、次順位者を落札候補者とするため、収支等命令者が別途指示した提出期限日までに確認資料を持参すること。

(2) 落札候補者が、確認資料のうちの全部又はいずれかの書類を提出期限日までに提出しない場合又は提出期限日までに提出された確認資料において入札参加資格を満たしていない場合は、無効とする。また、提出期限日までに提出された確認資料において、記載間違い又は記載漏れがある場合には、無効とすることがある。

(3) 確認資料は、次のアからオのとおり取り扱うものとする。

ア 入札公告等に定める様式がある場合は、その様式により作成すること。

イ 作成及び提出に係る費用は、落札候補者の負担とすること。

ウ 入札参加資格の確認以外に使用しないこと。

エ 落札候補者に返却しないこと。

オ 原則として提出期限日を超過する日以降に、差し替え又は再提出を認めないこと。

7 落札者決定及び契約に関する事項

(1) 落札者を決定した時は、入札参加者に落札者決定通知書を通知する。

(2) 落札者が、落札決定通知書を受けた日から、原則として1週間以内に契約（仮契約を含む。）を締結しないときは、その落札は無効とする。

(3) 本契約の締結に際し、岐阜県地方競馬組合議会の議決を必要とする場合は、落札後に仮契約を行い、議決後に本契約を締結する。ただし、仮契約後であっても、議決等の状況によって本契約を締結しないことがある。

(4) 契約手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

(5) 入札保証金及び契約保証金は、規則第114条各号に該当するときは、免除する。

(6) 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）又は刑法（明治40年法律第45号）第96条の6及び同法第198条に規定する違反行為が認められた場合は、違約金として請負金額の10分の2に相当する額を支払わなければならない。

8 その他

(1) 天災その他やむを得ない理由により、収支等命令者が入札又は開札等を行うことができないと判断したときは、これを延期又は中止する。この場合における費用は、入札参加希望者、入札参加者及び落札候補者の負担とする。

(2) 談合情報があった場合は、談合の事実の有無にかかわらず、そのすべてを公表することがある。

また、談合情報どおりの開札結果となった場合は、談合の事実の有無にかかわらず、契約の締結をしないことがある。なお、この場合は原則として改めて公告をして、入札を行うものとする。

(3) 落札者が、当該業務の本契約締結の日までに、暴力団措置要綱に基づく入札参加資格停止措置を受け

たときは、当該落札者と契約を締結しない。また、契約後に暴力団措置要綱に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、原則として契約を解除する。

- (4) 入札参加資格のない者及び会計規則第130条各号に該当する者の入札があった場合には、その入札を無効とする。
 また、無効な入札を行った者は再度入札に参加できず、無効な入札を行った者を落札者とした場合は、その落札決定を取り消す。
- (5) 申請書、入札書等又は確認資料に虚偽の記載が判明した場合には、参加資格停止措置となる。
- (6) その他不明な点は、発注機関に照会すること。

9 担当課

区分	担当課	電話番号	住所
担当課	岐阜県地方競馬組合 再整備推進課	058-388-4955	〒501-6191 岐阜県羽島郡笠松町若葉町12番地

10 入札日程

手続等	期間・期日	方法・場所
入札説明書、設計 図書の閲覧・配布	令和6年 5月14日(火) 午後0時から 令和6年 5月29日(水) 午前11時まで	担当課による閲覧・配布
質問の受付	令和6年 5月14日(火) 午後0時から 令和6年 5月21日(火) 午後4時まで	担当課まで持参等
回答書の閲覧	令和6年 5月23日(木) 午前9時から 令和6年 5月29日(水) 午前10時まで	担当課による閲覧
入札参加申請	令和6年 5月14日(火) 午後0時から 令和6年 5月20日(月) 午後5時まで	担当課まで持参
入札参加通知書の 通知	令和6年 5月21日(火) まで	郵送による
入札書等の提出受 付及び開札	令和6年 5月29日(水) 午前11時から	岐阜県地方競馬組合 第一会議室
確認資料の提出 (落札候補者のみ)	令和6年 5月30日(木) 午前9時から 令和6年 5月31日(金) 午後4時まで	担当課まで持参
苦情申立て	入札参加通知書又は入札参加資格不適合通 知書の通知日から起算して7日以内(県の 休日を含まない)	担当課まで持参 書面(様式は自由)
苦情申立てに対す る回答	苦情申立てができる最終日の翌日から起算 して原則として10日以内(県の休日を含 まない。)	書面により回答
入札結果の公表	落札決定した日	担当課による閲覧

11 手続等に必要な提出書類

手続等	必要な提出書類
1) 入札参加の申請書 提出時	・様式1(入札説明書) 入札参加申請書
2) 入札書等の提出時	・様式3(入札説明書) 入札書 ・様式2(入札説明書) 委任状 ・入札参加通知書の写し ・積算内訳書
3) 確認資料の提出時 (落札候補者のみ)	・様式1-2(入札説明書) 入札参加資格確認申請書(落札候補者用) 以下、附属書類 ・別記様式3 業務実績調べ ・別記様式4 配置予定技術者名簿 ・各種証明書類(契約書の写し、技術者の資格証明書の写等)